

2026/9/8 (木)  
ネット世界旅行

# 北米の中部

シカゴ：

摩天楼がそびえ、五大湖の一つミシガン湖畔に広がる大都市摩天楼発祥の地として知られ、美しい高層建築。

シンシナティ：

オハイオ川に架かる美しい歴史的なローブリング吊橋



# シカゴはどんな街



- 五大湖の一つミシガン湖畔に広がるアメリカ第3の大都市です。
- 摩天楼発祥の地として知られ、美しい高層建築、ジャズやブルース、シカゴ美術館など文化も豊か。
- 湖と近代都市が調和した、アメリカ中西部を代表する街です。

年間2500万人が訪れる名所がある？シカゴの観光地15選！ | 世界トリップ

### 3. レイクフロント・トレイル (Lakefront Trail)



レイクフロント・トレイルは、ハリウッド・ビーチからサウス・ショア・パークを結ぶ全長28キロの遊歩道。ウォーキングやジョギング、サイクリングレーンが配置されており、ミシガン湖沿いの景色を楽しむことができます。

特にネイビー・ピアからシェッド水族館に向かうコースがおすすめです、シェッド水族館周辺からはきれいな夜景を見ることができます。

年間2500万人が訪れる名所がある？シカゴの観光地15選！ | 世界トリップ

4. ウィリス・タワー (Willis Tower)



ウィリス・タワーは、1970～1973年に建設された高さ527.3メートルの高層ビル。シカゴで最も高く、完成した1973年から1998年まで世界一の高さを誇ったビルはシカゴのランドマークとして愛されています。

■展望台「スカイデッキ・シカゴ」  
スカイデッキ・シカゴはタワーの103階に位置し、360度のパノラマビューの美しさはもちろん、夜景スポットとしても人気。全面ガラス張りの展望台「ザ・レッジ」が2009年7月にオープンし、多くの観光客から支持を得ています。

年間2500万人が訪れる名所がある？シカゴの観光地15選！ | 世界トリップ

6. シカゴ・シアター (The Chicago Theatre)



シカゴ・シアターは、1921年にオープンしたネオバロック様式の劇場。シカゴと言えばココ！という人も多い有名な場所。1979年にはアメリカ合衆国国家歴史登録財に登録されています。

1986年9月10日のリニューアルオープンの際には、フランク・シナトラ (Frank Sinatra) がパフォーマンスを行うなど、著名ミュージシャンがプレイした場所でも知られています。

年間2500万人が訪れる名所がある？シカゴの観光地15選！ | 世界トリップ

## 11. ラサール街 (LaSalle Street)



多くの金融関連企業がラサール街にオフィスを構え、なかでもシカゴ・マーカンタイル取引所（CME）は先物取引などデリバティブ商品の取引量で世界最大規模を誇っています。高架鉄道が走り、ウィリス・タワー（Willis Tower）も近いので、金融に興味のない人も街ぶらの的に訪れてみると一味違ったシカゴ観光ができると思います

■フラミンゴ (Calder's Flamingo)



フラミンゴは、1974年10月に公開された彫刻家「アレクサンダー・カルダー (Alexander Calder)」が手掛けたパブリックアート作品。高さ16メートル、重さ50トンのこちらの作品はフェデラル・プラザ (Federal Plaza) に位置しています。

# シンシナティ

シンシナティは、アメリカ中東部、シカゴの南東にある都市

19世紀には河川交通の拠点として栄え、ドイツ系移民が多く住んだことから、「アメリカのパリ」と呼ばれたこともある。

19世紀、商業や芸術、音楽が盛んな都市として発展しました。

パリに例えられたのは、移民の出身国ではなく、都市の文化的な繁栄を表したから。つまり、ドイツ系移民が音楽や文化を発展させ、その華やかさがパリに例えられたということです。

# ジョン・A・ローブリング橋

[オハイオ・リバー・トレイル -  
Google マップ](#)



1866年完成。当時、世界最長だった吊り橋で、設計者ローブリングは後のニューヨークのブルックリン橋の設計でも知られます。オハイオ川とシンシナティの街並みを一緒に見ることが出来る

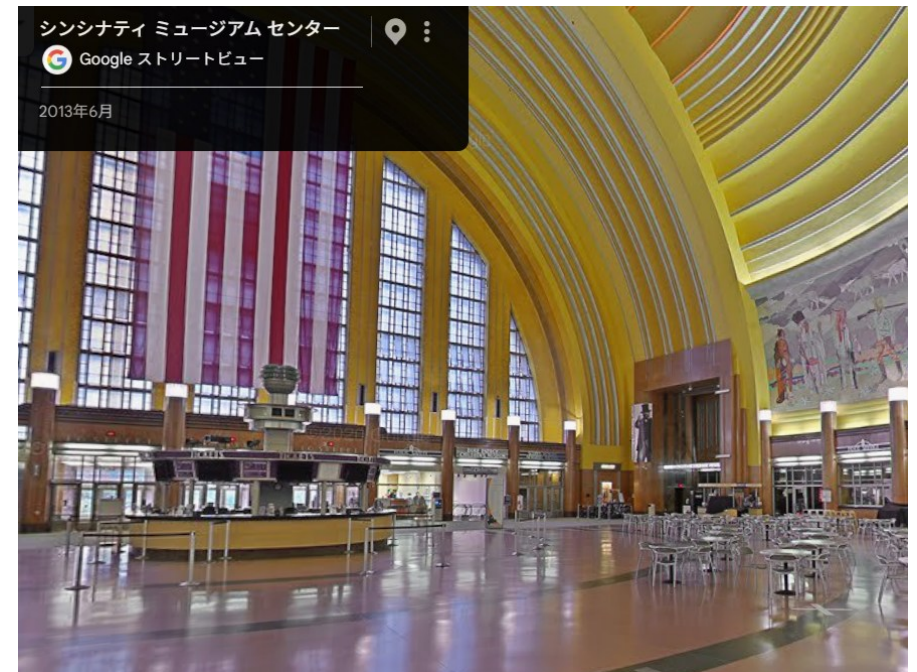
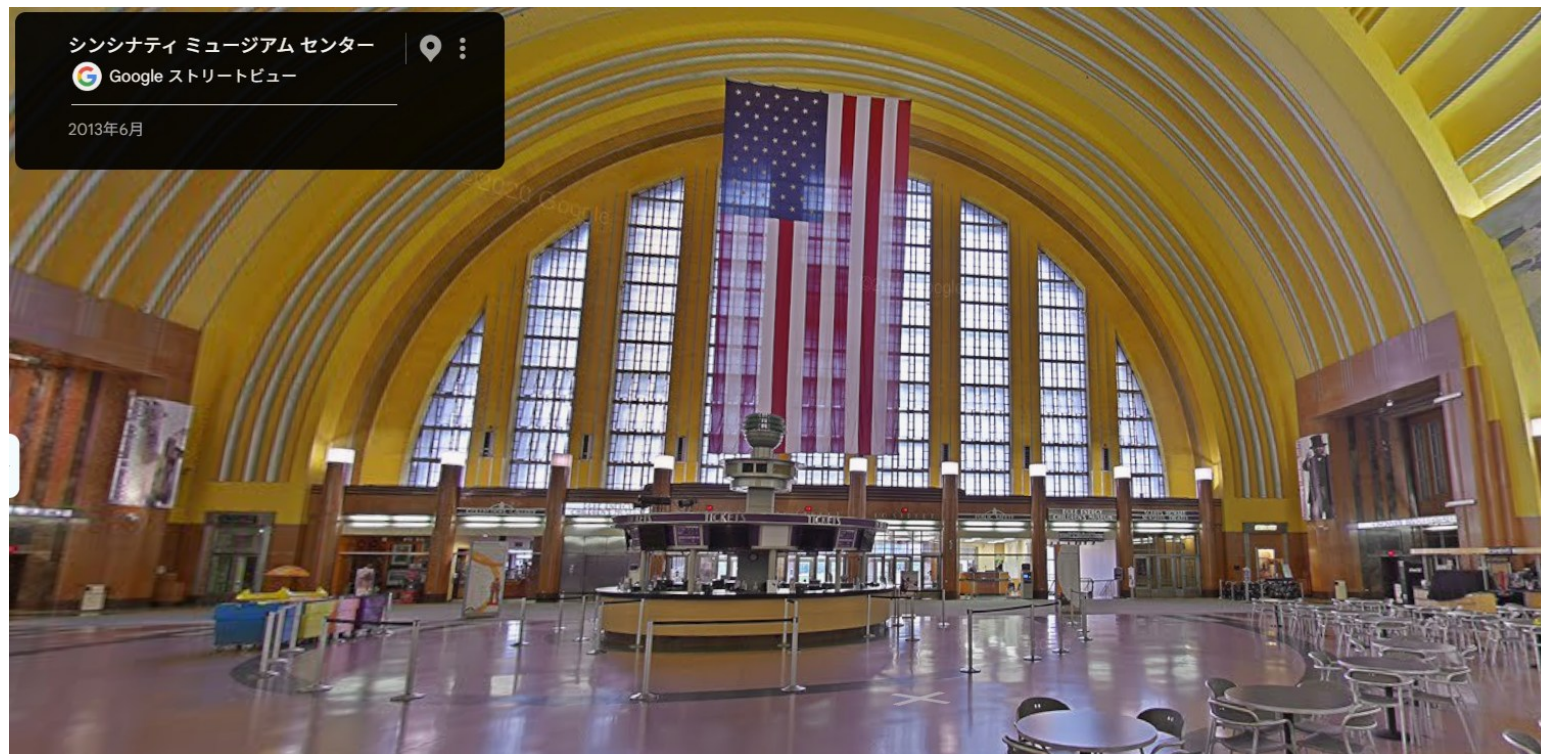
# シンシナティ・ユニオン・ターミナル

[シンシナティ・ユニオン・ターミナルとは？意味・概要・関連情報 | jmedia.wiki](http://jmedia.wiki)



1933年開業の巨大な旧鉄道駅で、壮大な半円形ドームを持つアール・デコ建築の傑作。現在はシンシナティ・ミュージアム・センターとなっていて、建物が非常に美しい場所です。

# ユニオンステーション



# 国立地下鉄道自由センター

